

## 授業改善プラン

地域名	北総教育事務所	学校名	八街市立八街中央中学校
-----	---------	-----	-------------

### 1. 課題（これまでの全国学力・学習状況調査結果等から）

- 令和3年度の調査では、記述式の問題について、無解答率とその他の解答率が平均値を超えている。
- ・無解答率と同様にその他の解答率も高いため、「問題文の理解力不足」が課題だと考えられる。
- ・「図形」についての記述式問題は、正しい図形をイメージできずに無解答になることが原因と考えられる。

### 2. 取組のポイント（仮説、改善方法等）

- 定期テストや単元テストで記述問題を積極的に出題することで、長い問題文を理解し自分の言葉で説明する力をつけ、無解答率を減らす。

### 3. 具体的な実践

- ①各テストにおける記述問題の出題
  - ・各学年とも毎テストで記述式の問題を出題した。また、テストに向けて授業においても記述する問題を積極的に扱った。
- ②授業改善
  - 【第1学年】 「文字と式」
    - ・文字を使った式について説明する方法として、ICT機器を活用し、図を用いて説明するようにした。
  - 【第3学年】 「平方根」
    - ・身近な事象について具体物の操作をしながら理解を深め、平方根の性質を説明できるようにした。
- ③少人数コース別授業の実施
  - ・1学年ではT2による授業展開、2学年では2C3T、3学年では1C2Tのコース別授業を展開し、生徒の学力や習熟度に応じて、個別対応や進度の工夫をすることで、学力の向上を図った。

### 4. 成果

- テストで記述問題を出題する習慣から、日頃の授業の中で記述させる場面や説明させる場面を設定しようとする意識につながった。
- 図示するためにデジタル教科書を利用することなど、より理解を深めるための工夫を考えることができた。
- また、学習サポーターが支援に入ることによって、理解度やつまづき場面に差がある生徒に素早く柔軟に対応することができ、生徒の理解や習熟を高めるとともに、生徒の意欲を継続させることができた。

#### ◆担当指導主事から（北総教育事務所 指導主事 田口 亜紀子）

- 八街市立八街中央中学校は、平成31年度から継続して検証協力校として授業改善に取り組んでいる。本年度も全国学力・学習状況調査の分析結果から課題を焦点化し、授業改善に取り組んだ。ICT機器を活用した授業を行ったり、テスト問題に記述式の問題を取り入れるといった工夫が、成果につながった。